

株式会社 東京精密 2017年度(平成30年3月期) 第2四半期 決算説明会

2017年11月14日
株式会社東京精密
代表取締役社長CEO 吉田 均

◆ 将来の事象に係わる記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭で提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに、当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
- これらは、市況、競争状況、半導体業界ならびに自動車関連業界等の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。
- 従って、今後の当社の実際の業績が、本プレゼンテーション資料における記述及び当社代表者が口頭で提供する情報と大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

◆ 表記データについて

- 本プレゼンテーション資料に記載されている金額や比率の情報は、注記がある場合を除き、億円またはパーセントによる要約表示を行っております。その為、内訳の計が、合計と一致しない場合があります。

◆ 監査について

- 本プレゼンテーション資料は、監査法人による監査の対象外です。

2017年度 上期業績 概要

単位：億円

	16年度		17年度		
	上期	下期	上期	前下期比 H/H	前年同期比 Y/Y
売上高	372	406	437	+8%	+17%
半導体製造装置	243	260	303	+17%	+25%
計測機器	129	146	133	-9%	+3%
営業利益	66	71	89	+26%	+35%
半導体	44	44	64	+46%	+43%
同率	18%	17%	21%	-	-
計測	21	27	25	-5%	+20%
同率	17%	19%	19%	-	-
経常利益	63	76	90	+20%	+43%
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	52	64	+21%	+36%



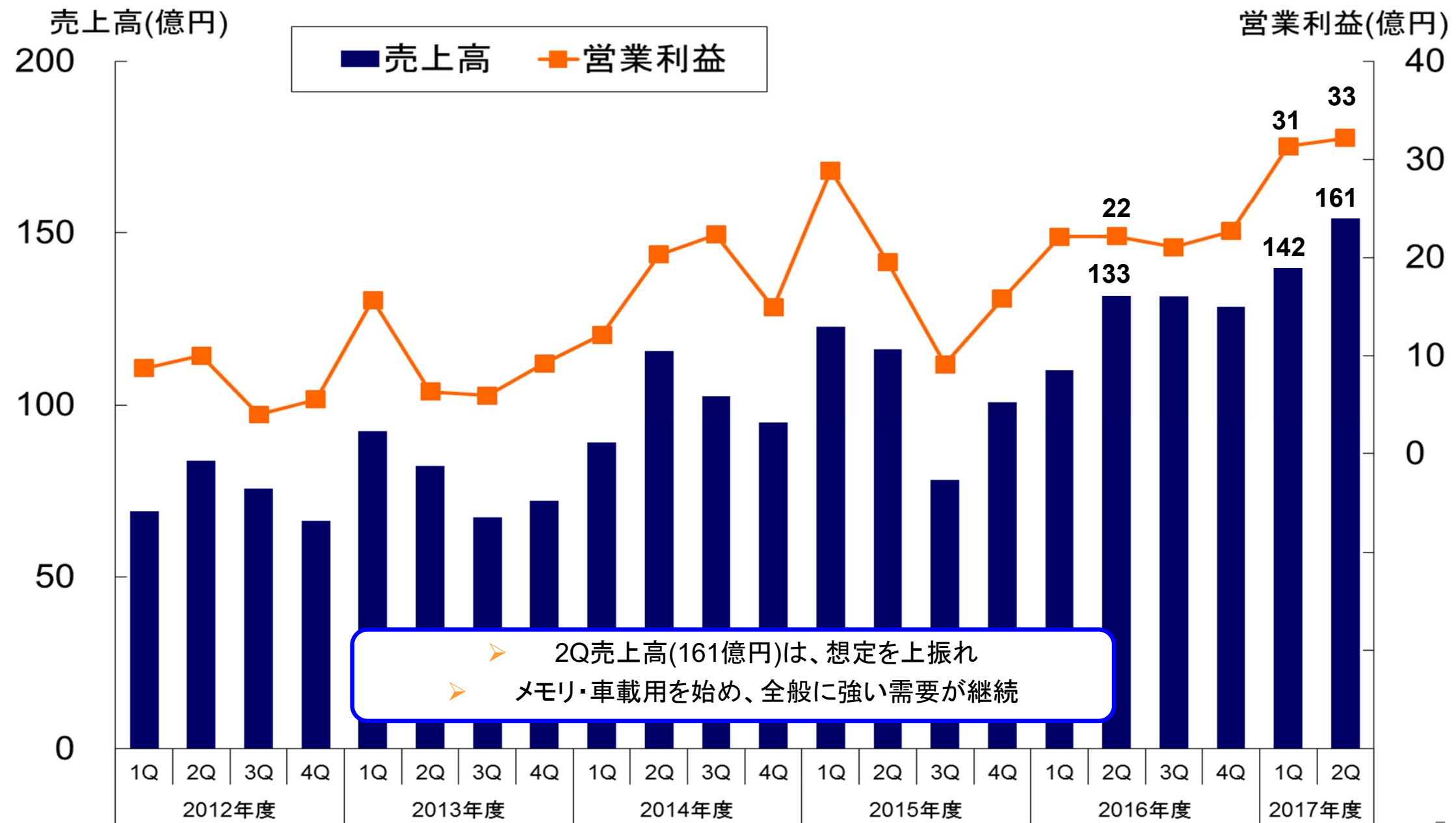
2017年度 第2四半期業績

単位: 億円

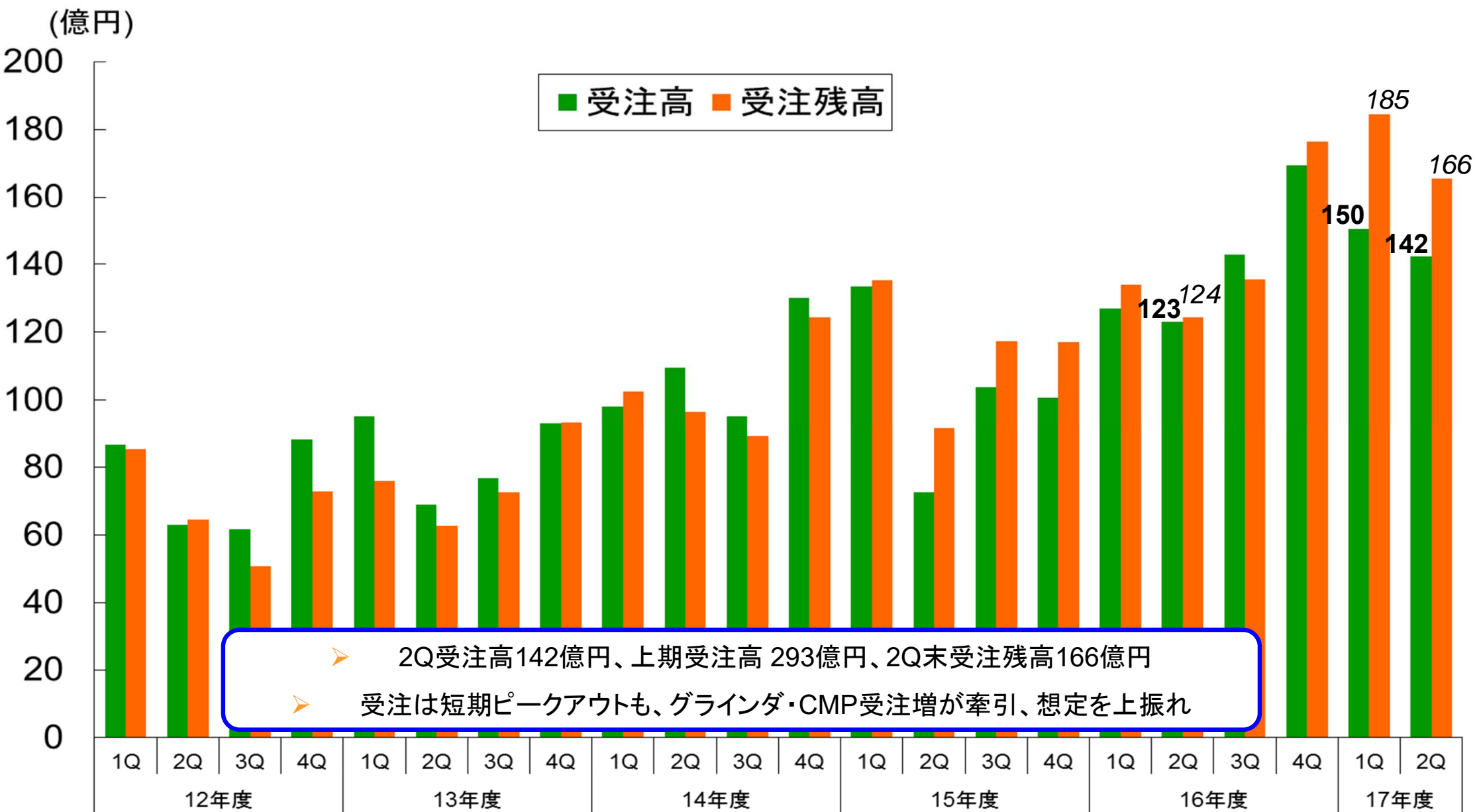
	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前 四半期比 Q/Q	前年 同期比 Y/Y
売上高	163	209	195	211	199	238	+19%	+14%
半導体製造装置	110	133	132	128	142	161	+13%	+22%
計測機器	53	76	63	83	57	76	+34%	+0%
営業利益	29	37	32	39	40	49	+21%	+31%
半導体	22	22	21	23	31	33	+3%	+46%
同率	20%	17%	16%	18%	22%	20%		
計測	6	15	11	16	9	16	+86%	+10%
同率	12%	20%	17%	20%	16%	22%		
経常利益	26	37	35	41	41	49	+19%	+31%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19	28	14	39	29	35	+20%	+24%



半導体事業 - 売上・営業利益推移



半導体事業 - 受注・受注残高推移



半導体事業 - 地域別売上高推移

売上高(億円)

400

300

200

100

0

■ 日本
 ■ 北米
 ■ 欧州
 ■ アジア
 ■ その他
 ● 売上高海外比率(%)

72%

75%

80%

海外比率(%)

100%

80%

60%

40%

20%

0%

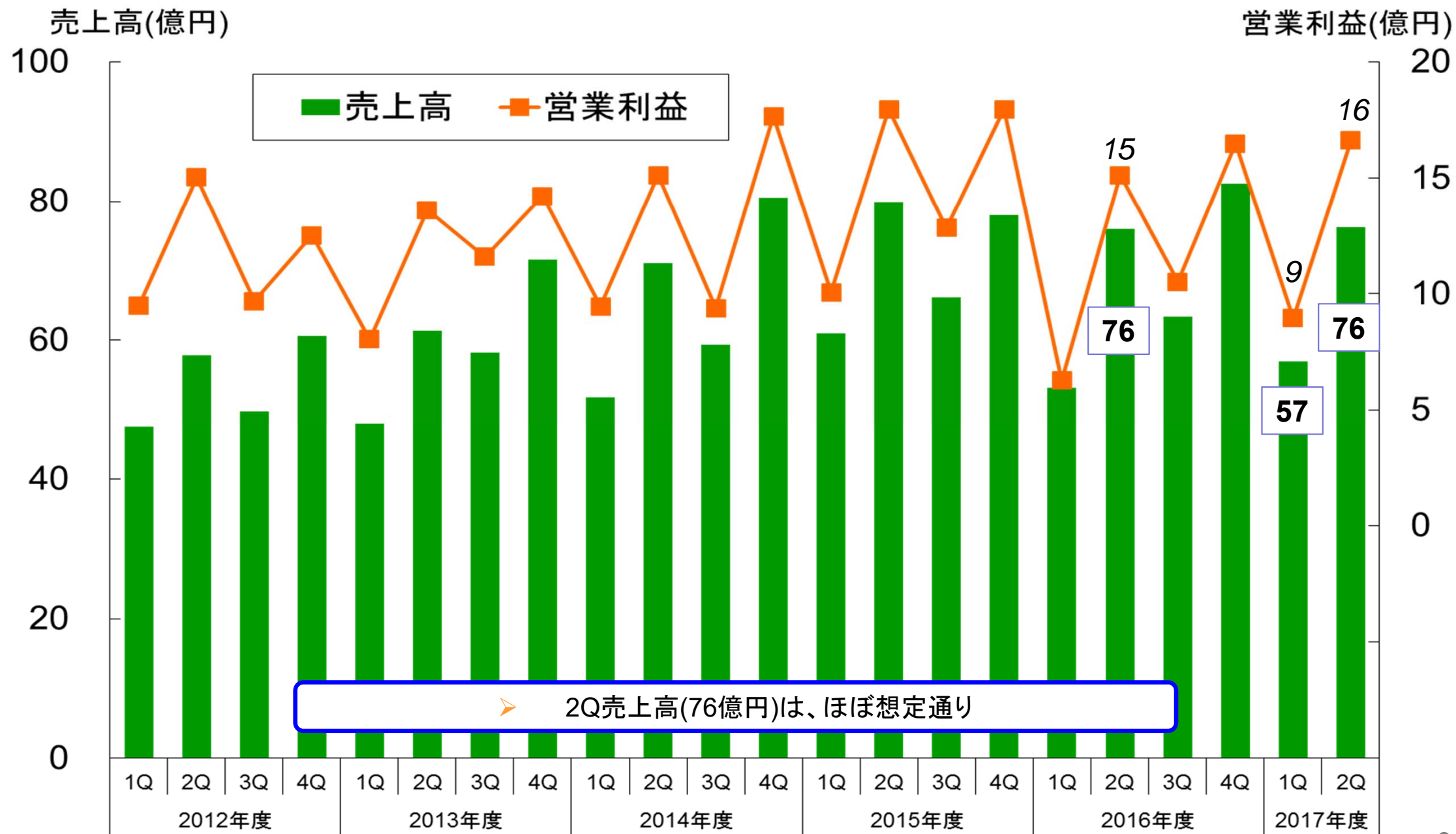
15年度上期

16年度上期

17年度上期

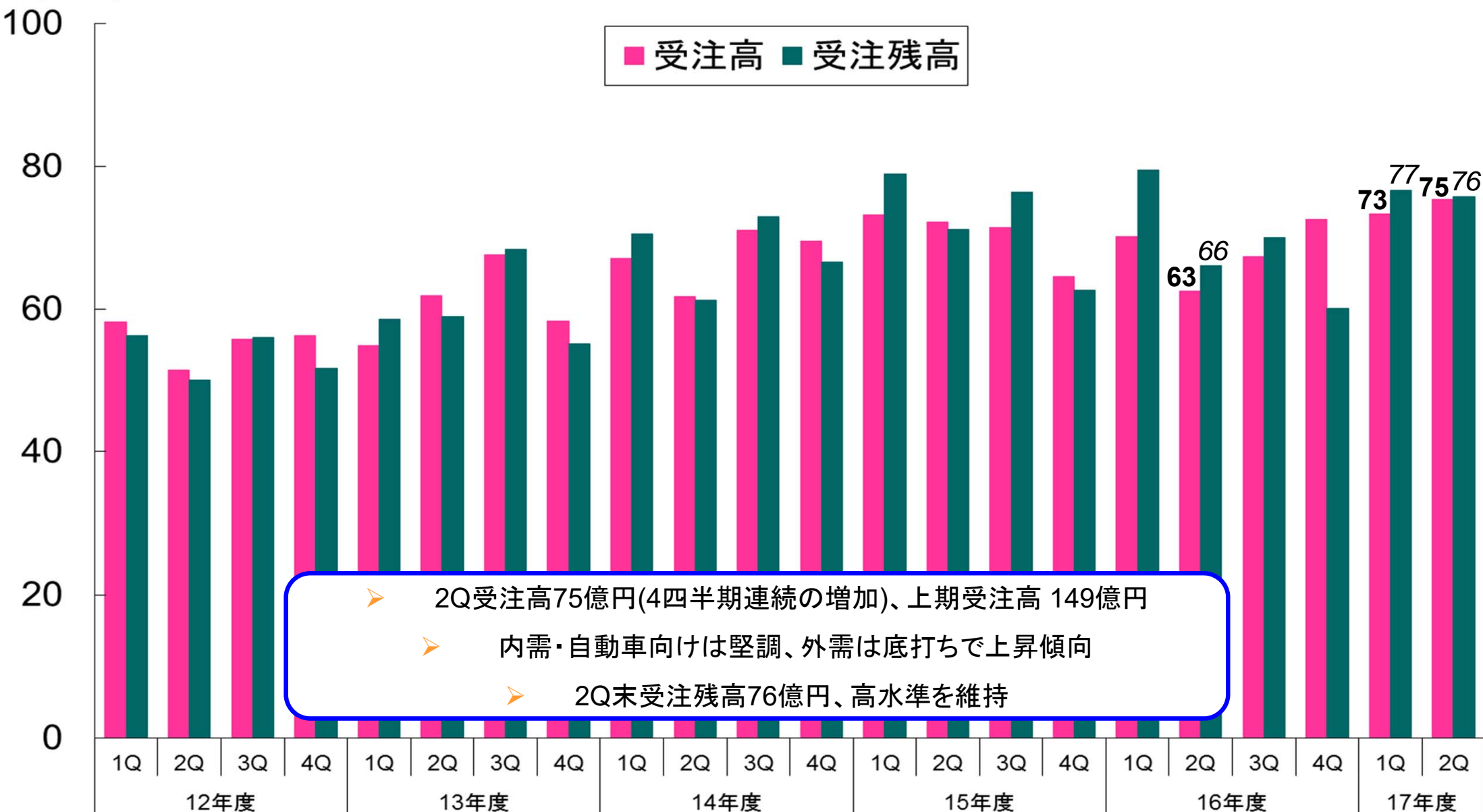


計測事業 - 売上・営業利益推移



計測事業 - 受注・受注残高推移

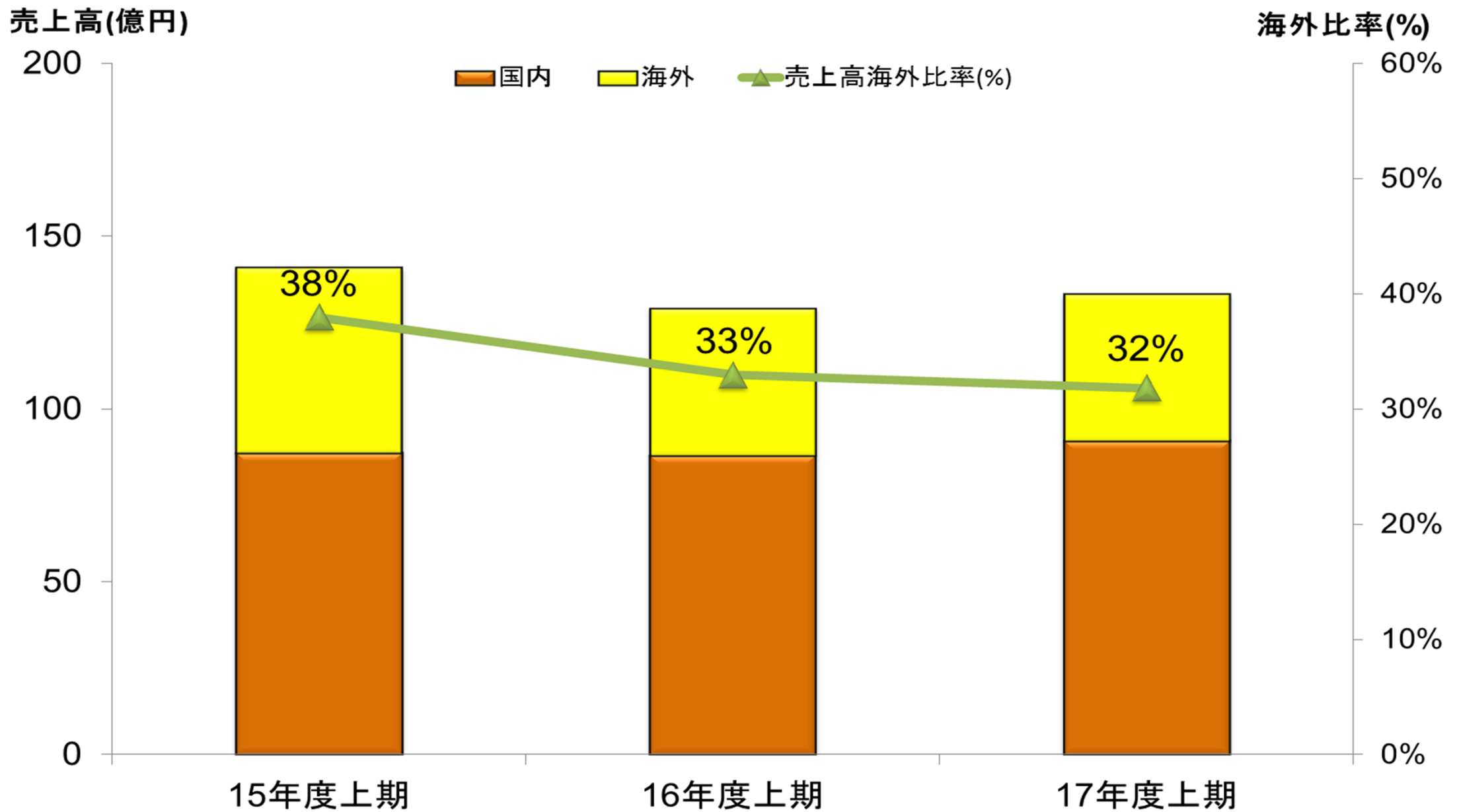
(億円)



- 2Q受注高75億円(4四半期連続の増加)、上期受注高 149億円
- 内需・自動車向けは堅調、外需は底打ちで上昇傾向
- 2Q末受注残高76億円、高水準を維持



計測事業 - 地域別売上高推移



2017年度 第2四半期 貸借対照表

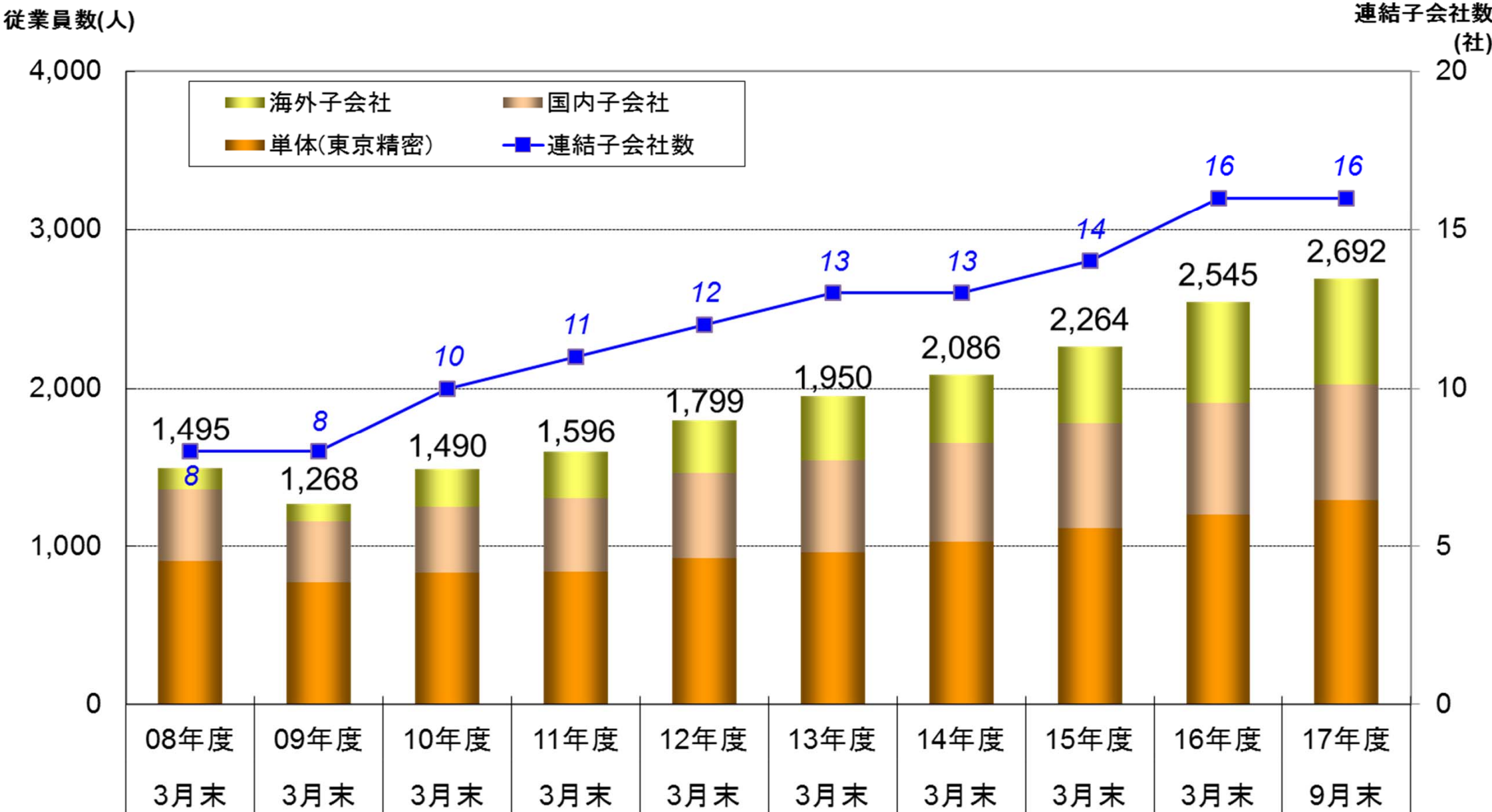
資産 (億円)	17/3末	17/9末	増減	負債/純資産 (億円)	17/3末	17/9末	増減
現預金	339	364	+ 25	支手・買掛金, 電子記録債務	158	198	+ 40
受取手形・ 売掛金・ 電子記録債権	284	311	+ 27	短期借入金	13	13	±0
在庫	173	189	+ 16	その他	95	82	- 13
その他	32	25	- 7	流動負債計	266	293	+ 27
流動資産計	828	889	+ 61	固定負債計	7	7	+ 0
固定資産計	317	341	+ 24	負債計	273	300	+ 27
資産合計	1,145	1,229	+ 84	純資産	872	930	+ 58
				負債・純資産合計 (内有利子負債)	1,145 (13)	1,229 (13)	+ 84 (±0)

2017年度 上期キャッシュフロー

単位:億円		15年度上期	16年度上期	17年度上期
現金等 期首残高		268	273	338
営業活動	税引前・償却前利益	88	75	103
	(売上債権+在庫) - 仕入債務	- 5	27	- 5
	納税	- 24	- 19	- 40
	その他	- 4	3	10
	小計	56	86	68
投資活動		- 30	- 37	-29
フリーキャッシュフロー		27	49	39
財務活動	社債・借入	- 2	- 2	0
	株式・配当金、他	- 13	- 14	- 15
	小計	- 15	- 16	- 15
増減額(含 換算差額・連結範囲変更)		13	30	25
現金等 期末残高		281	303	364

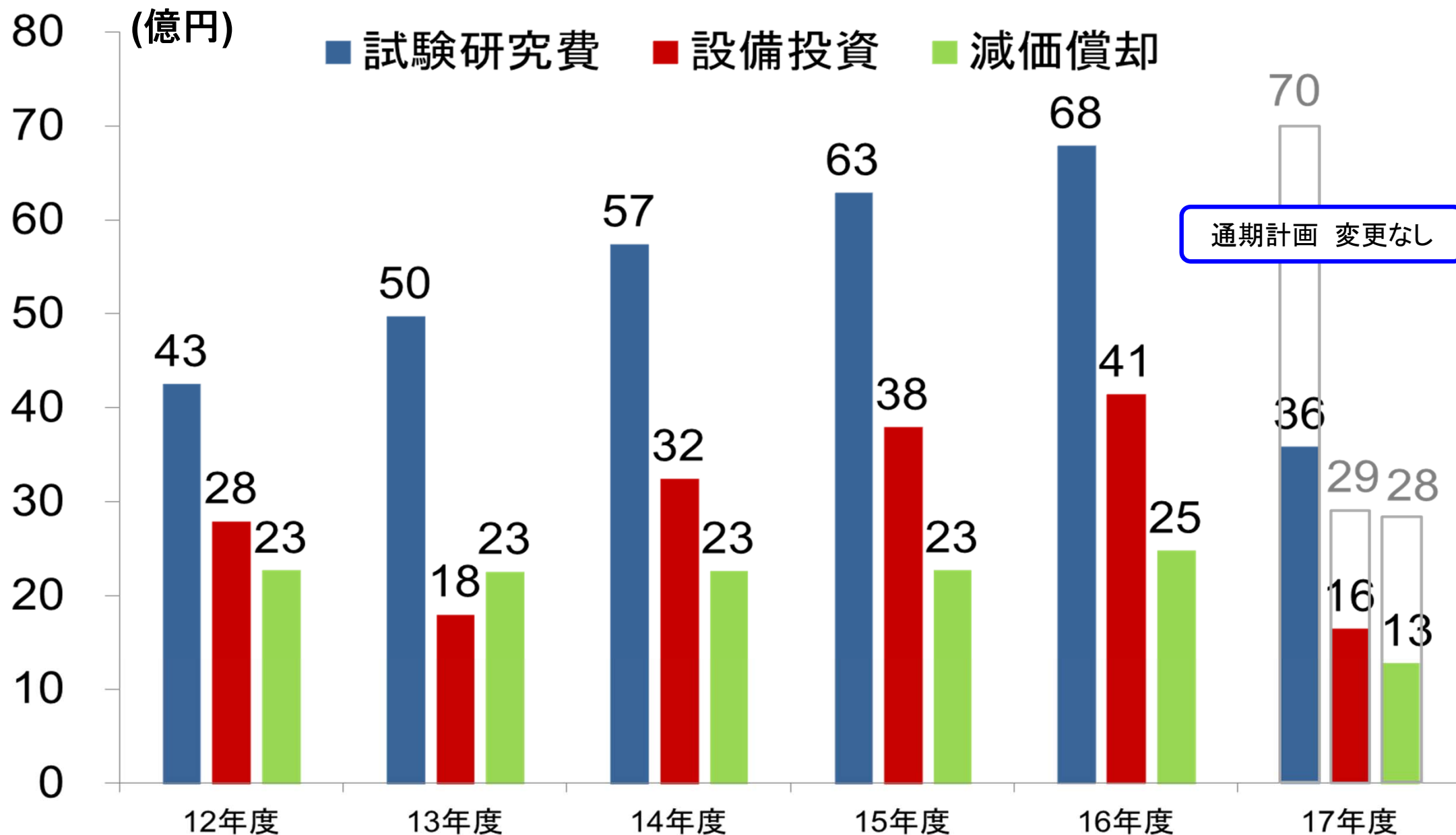


従業員数推移



注) 上記従業員は、正社員と期末時点の臨時従業員の単純合算

試験研究費、設備投資、減価償却



◆半導体製造装置

- 短期受注はピークアウト、グラインダやCMP堅調、谷は浅い
- 例年通り 年度後半の回復を予想
- 引き続きメモリ・車載・電子部品需要に期待

◆計測機器

- 国内のモノづくりは全般に堅調
- 海外向け需要(特に中国)は回復傾向
- 従来ニーズに加え、自動化/IoT用途の受注拡大に期待



2017年度 通期業績予想

単位: 億円 (配当除く)

	16年度			17年度				
	上期	下期	通期	上期	下期 予想	通期 予想	前回 予想 対比	前年比
売上高	372	406	778	437	413	850	+60	+9%
半導体製造装置	243	260	503	303	267	570	+60	+13%
計測機器	129	146	275	133	147	280	±0	+2%
営業利益	66	71	137	89	71	160	+20	+17%
同率	18%	17%	18%	20%	17%	19%	-	-
経常利益	63	76	139	90	70	160	+20	+15%
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	52	99	64	48	112	+12	+13%
1株配当	34円	38円	72円	41円	41円	82円	+10円	+10円

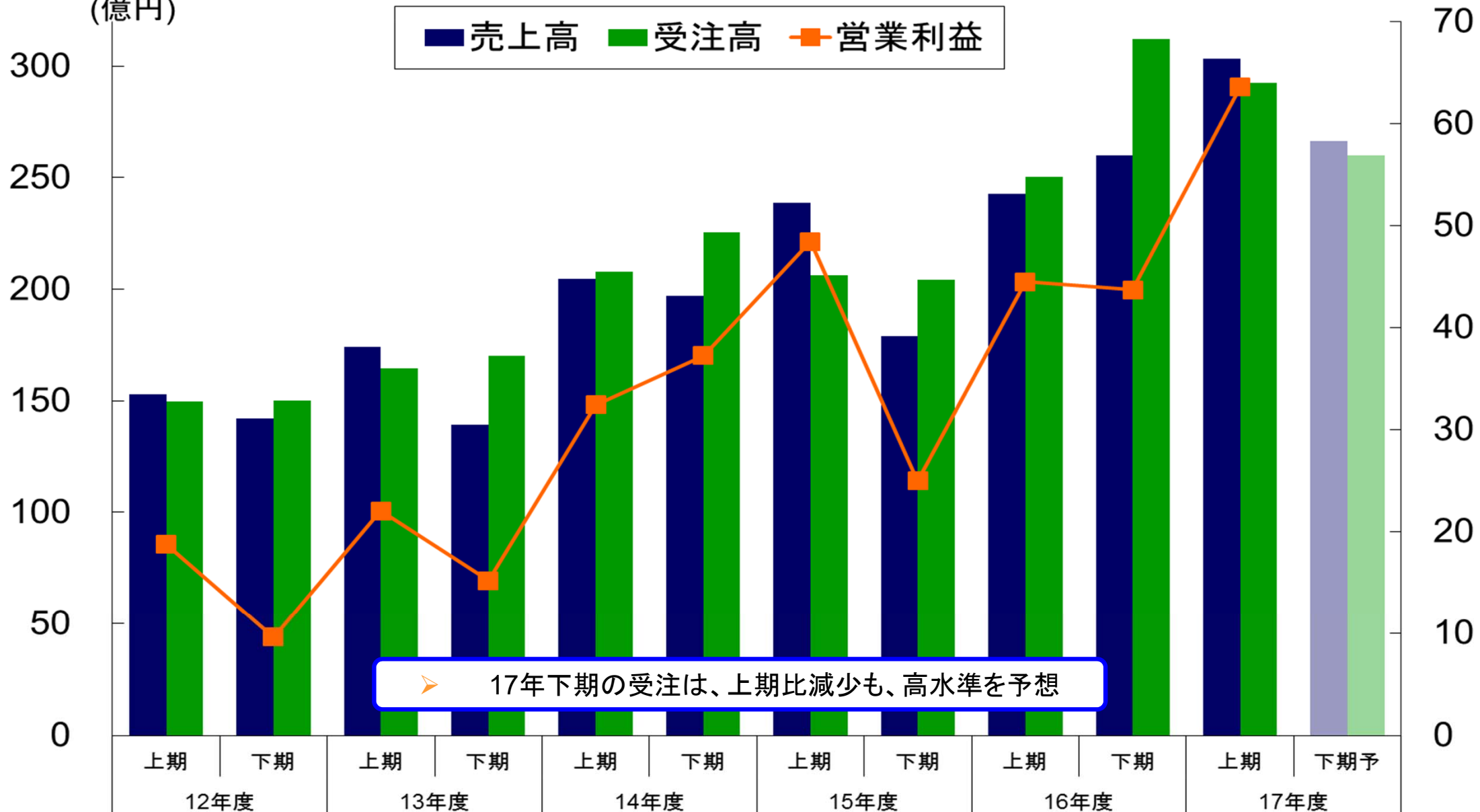
前回予想公表: 2017年8月10日



半導体事業 - 売上・受注高 見込

売上高・受注高
(億円)

営業利益(億円)

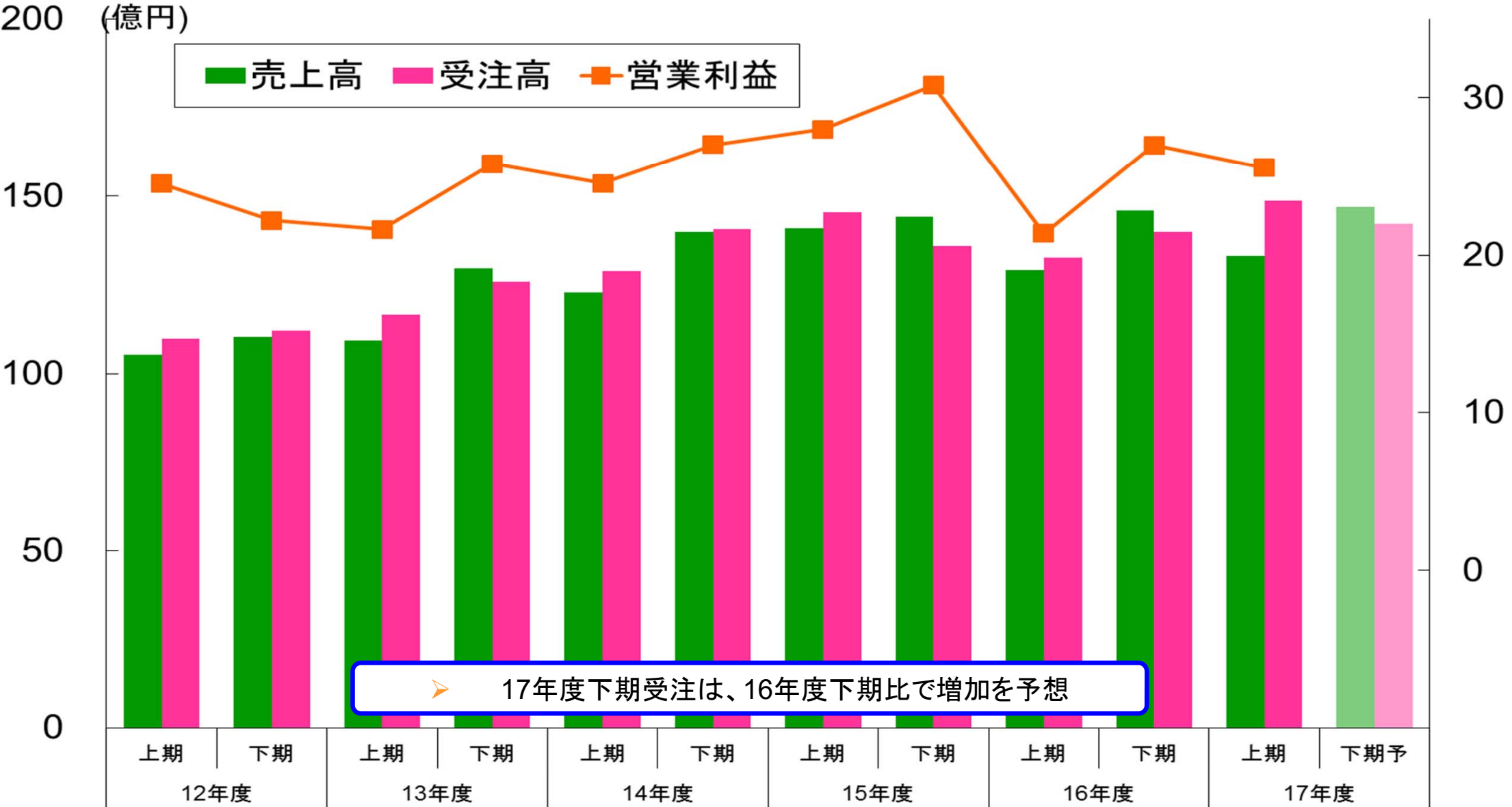


➤ 17年下期の受注は、上期比減少も、高水準を予想

計測事業 - 売上・受注高 見込

売上高・受注高

営業利益(億円)



➤ 17年度下期受注は、16年度下期比で増加を予想



企業理念

世界中の優れた技術・知恵・情報を融合して世界No.1の商品を創り出し、皆様と共に大きく成長してゆく

理念を示すモットー:

「**WIN-WINの仕事で世界No.1の商品を創ろう**」
WIN-WIN relationships create the World's No. 1 Products

コーポレートブランド:

ACCRETECH

“Accrete (共生)” と “Technology(技術)” の合成語

当社事業の特長

半導体 事業

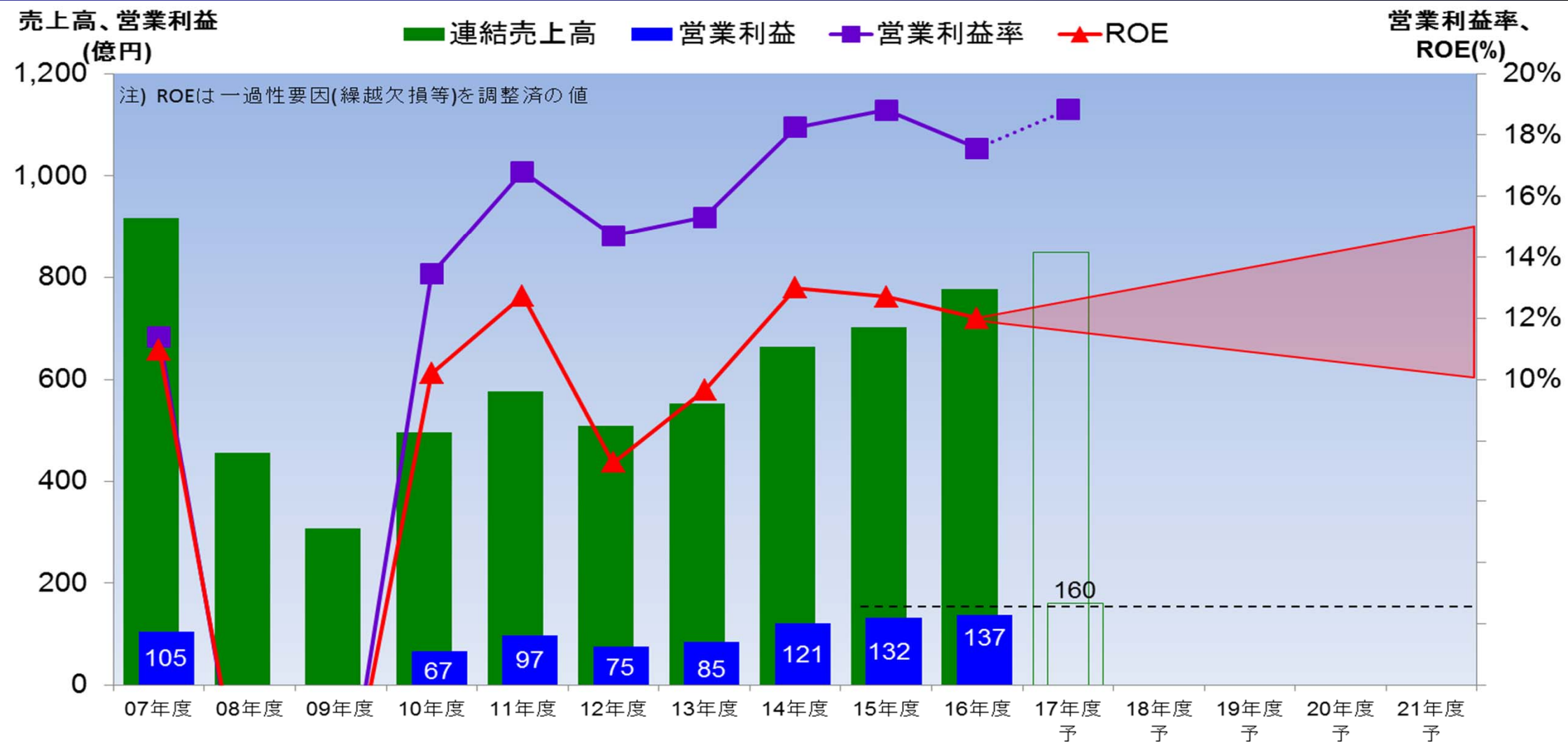
- ・ 強み: 精密位置決め制御技術、内製化
- ・ チャンス: 新技術・新デバイス

計測 事業

- ・ 強み: 高精度・高分解能測定技術、信頼性
- ・ チャンス: 新分野・新興国を含む海外需要

- ・ バランスの取れた事業構成
 - 異なる事業領域を有することによる安定性(需要変動影響を吸収)

長期的な指標、中期目標



◆ 長期指標: ROE 10%以上の企業体質の維持

◆ 中期目標(~18年度): 営業利益 既往ピーク 150億円の更新

事業戦略の骨格

1. 主力市場に向け、製品競争力を更に高める (No.1製品)
2. 成長期待分野・安定需要分野に向け、経営資源投下

半導体

主力市場:

- ・メモリ
- ・車載デバイス
- ・電子部品



安定需要・成長市場:

- ・中国市場
- ・ノンシリコン/基板
- ・消耗品



計測

主力市場:

- ・自動車及び自動車部品
- ・工作機械



安定需要・成長市場:

- ・航空機
- ・オートメーション
- ・海外市場

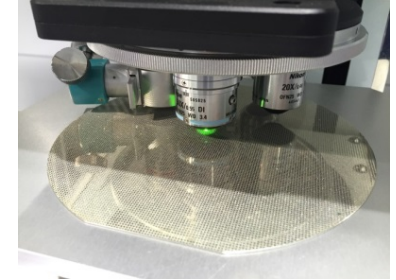
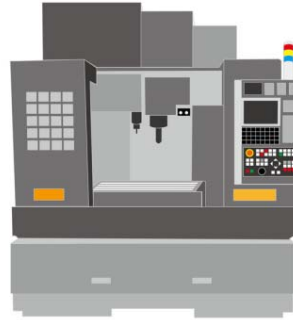


継続的な売上と利益の拡大

半導体事業のポイント・今後



- ◆ 半導体市場は「繋がる」を軸に 構造的な成長フェーズへ
- ◆ これらに必須なメモリ・車載・電子部品に対し、当社製品の強みを最大化する



新製品による 売上の拡大

安定・成長業界への製品投入
光学測定機の拡販

海外における 売上の拡大

自動化やIoTへの対応
世界への拡販を狙った
ラインナップの拡充

継続的な売上と利益の拡大



東京精密は
アクレーテクです